

第17回遠軽町芸術文化交流プラザ建設検討協議会会議録

- 日時 令和2年7月2日（木） 午後6時00分
- 場所 遠軽町役場 3階 大会議室
- 出席者 別紙のとおり
- 会議内容 以下のとおり

1 開 会

＜事務局＞

本日の会議には、本田委員、藤田委員から欠席の御連絡をいただいております。井上委員についてはまだ連絡をいただいております。なお、太田アドバイザーについては、本日、他用務のため欠席となりますことを御報告申し上げます。

本年度に入りまして初めての建設検討協議会であります。4月から地域拠点施設準備室が行っておりました事業を施設整備に関わる部分を企画課で担当し、管理運営の部分が教育委員会社会教育課で担当しております。（以下、職員紹介）

2 報 告

(1) (仮称) えんがる町民センター建設工事の工期延長について

説明：企画課 今井課長

説明要旨
<p>本日の議題であります(仮称)えんがる町民センター建設工事の工期延長について、説明させていただきます。</p> <p>議案の施設名について補足しますが、正式名称は遠軽町芸術文化交流プラザですが、発注した工事名が(仮称)えんがる町民センター建設工事になっておりますので、ここでは正式名称を使用していないことをご理解いただきたいと思います。</p> <p>まず、資料1ですが、(仮称)えんがる町民センター建設工事の工程表でございます、左側から右側にかけて令和元年度から令和3年度までの時系列となっております。</p> <p>上段には、2月下旬から6月下旬までの新型コロナウイルスに関する北海道から全国にかけての動向を記載しており、中段は、建築工事における基礎工事から舞台機構工事までのスケジュール、下段は、建築主体工事以外の給排水設備、電気設備などの工事スケジュールを示しております。黒矢印が当初の工程、青矢印が変更になる工程、オレンジ矢印が変更する期間を示しております。</p> <p>また、2月下旬から6月下旬までの薄いピンクで表示された部分は、北海道独自の緊急事態宣言から全国的な緊急事態宣言解除を受けて都道府県間の往来が解除されるまでの期間を示しています。</p> <p>建築工事のうち、基礎工事の欄をご覧ください。</p> <p>昨年8月に着工し、今年3月が基礎工事の完了予定となっておりました。この基礎工事の中で、JRの線路から音楽ホールまで地盤を伝わる振動を抑制するための基礎防振工事というものがございます。</p>

資料 2 をご覧ください。この写真は上空から写した先月までの現場の状況写真になります。右側の紫線で囲われた部分が防振ブロックの工事の施工範囲でありまして、町民センターの舞台裏にある楽屋、舞台袖、舞台、観客席の範囲となります。

黄色い線で囲われている部分が観客席であり、そのうち2/3程度が防振工事の範囲となっております。赤い線で囲われている部分以外の区域は昨年工事が完了しており、赤い線で囲われている範囲については今年3月から着手する予定でありました。

資料1に戻っていただきまして、2月28日に北海道から緊急事態宣言が発出され、外出自粛や三密を避けること、マスク着用や咳エチケットなど感染拡大防止が求められました。オホーツク管内でも、集会場や事業所等で感染者が出るなど緊張が高まったため、受注者が防振工事を請け負っていた神奈川県の下請業者と協議し、現場への入場を制限することとしたところであります。

その後、3月18日には、北海道として宣言緩和を発表し、6月19日をもって緊急事態宣言を終了としたところですが、一方で、首都圏では感染者が増加したため、4月7日に7都府県による緊急事態宣言、4月16日には6道府県が追加され、北海道に第2波と言われる感染者増加がみられることとなり、5月下旬まで続くこととなりました。

その結果、オレンジの矢印で示すとおり当初工程から3か月の遅れが生じることとなり、全体の実施工程の見直しが必要となったところです。

現在は、5月下旬から防振工事を含む基礎工事を再開し、6月末で完了、7月から鉄骨工事を進める運びとなっております。

鉄骨工事は9月下旬完了、建物を構築していく躯体工事は8月中旬に着工し、6か月程度の日数を要しますが、赤い点で示すように冬季施工にかかるため、コンクリート養生(採暖)、足場等の仮設盛替えに要する期間として、さらに2カ月必要となり、4月末の完了を見込んでおります。

また、町民センターの命ともいえるべき舞台機構工事は、6月中旬の着工予定から3か月遅れの9月中旬に着工を予定しておりましたが、舞台機構工事を請け負っていた業者から、着工は来年5月までずれ込むと受注者への報告があり、発注者である町に報告があったところです。

舞台機構工事の着工がずれ込む理由につきましては、全国で施工している約40件の工事現場において工程遅れの影響が出ており、人員配置の調整を行った結果、最大で見積もって、令和4年2月末の完成を見込んでいるものです。

このようなことから、当初の完成は令和3年3月、オープンは夏頃を予定しておりましたが、工期の延長によりまして、完成が令和4年2月末、オープンにつきましては、令和4年の夏頃を予定するものでありまして、概ね1年間延長せざるを得ない状況となりました。

また、今回の工期延長に伴いまして、請負代金が増額となることも予定しておりますが、その財源の確保等について、適切に精査すべき事項がありますので、今後整理してまいりたいと考えております。

さらに、工期延長について、町民の皆様への影響が大きく、周知を速やかに行う必要がありますので、広報瓦版での配布や新聞報道機関に対しまして周知を行いたいと考えております。委員の皆様からもそれぞれの団体に対しまして、おそれいりますが周知をしていただきたくお願いいたします。

【意見】

発言者	内容
伊藤会長	<p>工期の延長、資料1、2について説明いただきました。皆様の質疑をいただきたいと思います。</p> <p>工期の延長により、各団体に影響が出てくると思います。コロナの影響で日本中が大変な状況となっております。これについて意見を言っても早く完成する訳ではありません。スケジュールを組んでいる団体については大変申し訳ないという気持ちであります。</p>
内野技監	<p>オープンが1日も早く待ち望んでいた方々にとって、この期間延長は大変申し訳なく思っております。</p> <p>舞台機構工事を請負う業者について9か月の施工期間の遅れが出てきております。9か月の間にどのような工事をするかという、反響板の設置や舞台上の吊りバトンの設置、照明、幕、巻き上げ機等の設置を行います。先ほど企画課長の説明でもありまして、全国で40件ほど施工をしております。全国各現場の日程調整を行った結果、遅れてしまうと説明をされています。その辺を皆様にもご理解いただければと思っております。</p>
伊藤会長	<p>質疑はありますか。</p> <p>質疑がなければ、ご理解いただいたという事でよろしいですか。</p>
委員	異議なし
伊藤会長	それでは報告2に進みます。

(2) 遠軽町芸術文化交流プラザの備品購入について

説明：企画課 今井課長

説明要旨
<p>資料3の遠軽町芸術文化交流プラザの備品購入についてをご覧ください。</p> <p>遠軽町芸術文化交流プラザに設置するフルコンサートグランドピアノが決定しましたので、ご報告させていただきます。</p> <p>1のヤマハフルコンサートグランドピアノ「CFX」の導入についてですが、プラザに導入するフルコンサートグランドピアノの選定に当たりましては、遠軽町において、ヤマハ製ピアノ用部材の生産を手掛けている北見木材株式会社の存在や、ホールにおける吹奏楽・オーケストラといった演奏に対する音響効果を最も重視して、ピアノを選定したところでありまして、以前の会議の中でも、この点について留意するように委員の皆様からもご意見をいただいていたところであります。</p> <p>国産では最高峰となるヤマハフルコンサートグランドピアノ「CFX」を導入することによりまして、国内外で活躍するピアニストを招聘したコンサートにも対応が可能となり、楽器を持ち運ぶことのできないピアニストにとって、コンサートホールで良質なピアノと出会えることは、音楽ホールとしての評価を高める大きな要素となります。</p>

また、一般利用を可能とすることで、幅広い世代が最高品質の優れた音域を日常的に体感でき、教育的効果をはじめプラザの利用促進が期待されるものであります。

CFXは、正式な発注を受理してからの受注生産を原則としておりますので、実際の製作開始から各種調整・試験、選定作業など数多くの行程を経た後、納品完了まで1年程度の期間を要するとされております。

2としまして、概要を載せておりますが、購入額につきましては、ピアノのほか、カバーや専用椅子、運搬車等の備品を含み、21,417千円となっております。

購入に当たりましては、契約の相手方を株式会社ヤマハミュージックリテイリングとしておりまして、本年5月20日に遠軽町議会の議決があったところであります。

北海道におけるCFXの設置ホールの状況としまして、現時点では、全道に3台のみでありまして、札幌市のhitaruに2台、同じく、札幌市の六花亭ふきのとうホールに1台という状況であります。

全国では、51のホールに設置されておりまして、町村としましては、全国で2か所目となります。

オホーツク管内としましては初めての導入となりますので、音楽関係者からは多くの注目を集めるものと思われまます。

このたびの建設工事の工期延長によりまして、ピアノの納品も1年遅れる形になりますが、現在、ヤマハと調整を行っているところであります。

さらに、ピアノ以外の大型打楽器や事務用品など、施設の運営に必要な備品の購入につきましても、工期の延長と調整しながら進めてまいりたいと考えております。

【意見】

発言者	内容
伊藤会長	報告2について質疑はありますか。
大西委員	このピアノを導入することによって、このピアノに関わるメジャーなアーティストを呼ぶためヤマハの協力は得られるのですか。
事務局	ヤマハではピアノを複数台作った中、プロのピアニストにこのホールにはこのピアノが良いと選定していただきます。現在ピアニストについては選定中ですが、その方にピアノを選定していただき、コンサートを開催することは可能だと思います。内容については今年度検討してまいります。
伊藤会長	他にありますか。
委員	なし

(3) 遠軽町芸術文化交流プラザ開館記念事業運営委員会について

説明：社会教育課 中南係長

説明要旨
<p>遠軽町芸術文化交流プラザ開館記念事業運営委員会について、所管します教育部社会教育課から報告します。</p> <p>開館記念事業運営委員会につきましては、これまで建設検討協議会及び事業部会で協議された結果を踏まえまして、開館記念事業に関する町民からの意見を反映するための新し</p>

い組織を設置するため、令和2年3月26日召集 第4回遠軽町教育委員会会議に遠軽町芸術文化交流プラザ開館記念事業運営委員会要綱を定めることの議案を提出いたしました。同日、議案は承認されまして、同年4月1日に要綱が施行されたところであります。

施行後、委員会に係る委員の一般公募を4月1日から4月17日まで実施し、3名の公募の申込みを受理したところであります。公募がありました申請書類を教育委員会で審査いたしまして、5月15日付で公募委員として決定。同時期において町内の関係機関及び団体等に対し推薦の依頼を出しました。同年5月26日召集 第6回遠軽町教育委員会会議におきまして、委員選出の議案提出をおこない委員の決定が承認されたところであります。決定しました12名の委員の方々につきましては資料4、3ページに記載していますのでご確認ください。6月29日に第1回目となります開館記念事業運営委員会会議を開催いたしまして、各委員に委嘱状を交付したところであります。

会議の中では要綱の確認をはじめ、これまで建設検討協議会で協議されてきた内容を説明し、今後の取組み、スケジュールについて確認をおこなったところでございます。

先ほど報告のありました工期の変更があることから、後日改めて運営委員会を開催しまして事業計画に係る活動スケジュールの見直しをおこなうことを報告いたします。

【意見】

発言者	内容
事務局	報告3について質疑ありますか。
委員	なし

3 その他

【意見】

発言者	内容
大西委員	コンサート、ライブハウス等のコロナに関する解除の情報がありますか。
佐藤部長	新型コロナウイルスの段階的な緩和について、北海道で示している基準があります。遠軽町はその基準に基づいていこうと確認しているところであります。今後拡大の状況によって変わる部分があるかと思えます。 7月9日までステップ2、7月31日までステップ3、8月1日以降は屋内イベントで全ての収容率50%の基準でやります。この基準が続くかは今後の終息状況で判断されていくと思えます。
内野技監	最近のニュースによりますと、屋内施設でクラシックコンサートや映画館では、ある程度の空調換気をしていけばライブハウスよりは感染率が低いのではないかとやっておりました。 まだまだ新型コロナについては分からないことがあります。今後いろいろな形で示されていくと思えます。
高橋委員	コンサートについていろいろ研究がされておりまして、金管楽器については飛沫がほとんど飛ばないという結果が実験はされていますが、認識がされていません。

	最近の施設では行事をやる時に必ず来館者の名前と住所と電話番号を提出しないとイベントができない施設があります。入場券の裏に記載をして、クラスターが発生したらすぐに対応できるようにしています。
本間委員	ピアノについてですが、購入するピアノは1台でしょうか。
事務局	新たに購入するのは1台です。福祉センターで使用している既存のピアノはまだ使用できる状態なので使用します。現在道の駅でアップライトピアノを誰でも自由に弾くことができます。プラザにもストリートピアノを設置したいと考えております。その他に混成合唱団が使用しているアップライトピアノがありまして、寄贈を受ける予定があり、2階多目的室1に設置する予定をしております。

4 閉 会

(午後7時00分 閉会)

第17回遠軽町芸術文化交流プラザ建設検討協議会 出席者一覧

区分	氏名	団体名等	備考
委員	伊藤 榮三	元遠軽町文化センター等を考える会会長	会長
委員	宮崎 良公	遠軽町自治会連絡協議会	副会長
委員	横田 昌弘	遠軽町文化連盟	
委員	本間 克明	遠軽商工会議所	
委員	秋田 博	えんがる商工会	
委員	小林 昌樹	えんがる町観光協会	
委員	橋口 理教	遠軽青年会議所	
委員	藤江 昭	遠軽町社会福祉協議会	
委員	高橋 利明	北見地区吹奏楽連盟副理事	
委員	平野 由美子	フラスタジオ・UEDA	
委員	平間 喜弘	遠軽がんばろう太鼓同好会	
委員	大西 定信	元遠軽町文化センター等を考える会委員	
委員	高桑 健次	一般公募、元遠軽町文化センター等を考える会委員	
事務局	佐藤 祐治	総務部長	
事務局	今井 昌幸	総務部企画課長	
事務局	林 幸司	総務部企画課企画担当係長	
オブザーバー	内野 清一	建設部技監	
オブザーバー	小野寺 正彦	教育部社会教育課長	
オブザーバー	中南 秀隆	教育部社会教育社会教育担当係長	
計	19名		

欠席

区分	氏名	団体名等	備考
委員	本田 ちづ子	ダンス教室 ami : Φアミウ	
委員	井上 幸次	北見地区吹奏楽連盟遠軽支部	
委員	藤田 正明	一般公募、遠軽地区連合会	
アドバイザー	太田 晃正	有限会社 時円プランニング代表取締役	